

# こがくぼう -古河公方公園- 公園だより



モミジバフウ

2022年11月号

【発行】

(一財)古河市地域振興公社  
古河公方公園(古河総合公園)  
茨城県古河市鴻巣399-1  
電話0280-47-1129

## ■どろんこクラブ いよいよ最後の作業『脱穀』です！

10/16

■10/17(日)どろんこクラブで最後の作業となる「脱穀」を行いました。前回9/25に収穫した稲を、昔の農機具を使用して脱穀に挑戦です！使用する農機具は2つ。『足踏式脱穀機』、『唐箕(とうみ)』です。どちらも一筋縄ではいかない農機具です。コツをつかんでうまく使いこなし、おいしいお米を手に入れましょう！

足踏式脱穀機を使用した慣れない作業に、みなさん戸惑いの色が隠せません。しかし作業が進むにつれ、いつのまにか手際が良くなり、コツをつかんだ子は、手さばきが職人のようでした。また、唐箕は一人では作業できない農機具のため、みなで協力して作業を行っていました。昔ながらの手作業で、お米を作る大変さを実感できたのではないのでしょうか。

足踏式脱穀機とは、踏板をリズムよく踏むと、Ω字型の針金の付いた円筒部分が回転し、そこに稲穂を押し付け、粃(もみ)をこそぎ落とす農機具です。大正から昭和にかけて使用されており、文字も右から左に書かれていますね。



足踏式脱穀機



唐箕(とうみ)

唐箕(とうみ)とは、ハンドルを回し、風を送り、粃とそれ以外を選り分ける農機具です。江戸時代あたりから日本で普及し、その構造は現代のコンバインなどにも取り入れられています。



さて、どろんこクラブとしての作業はこの日が最後となります。今回の脱穀作業では、積極的にお手伝いをするメンバーもいて、半年ではありますが、成長を大いに感じることができました。あとは採れたお米を精米して出来上がりです。たのしみですね！

## ■すすきの無料配布

10/7~8

■今年は十三夜が10/8(土)でした。今回も、前回の十五夜同様、すすきの無料配布を行いました。十三夜は、秋の収穫に感謝しながら美しい月を愛でる習わしだそうです。ちなみにお供え物は旬のもの「豆」や「栗」をチョイスするのがいいですよ。



## 脱穀作業おつかれさまでした！



## ■ハスの果托を使用したハンドクラフト教室開催！

10/22



■ハスの果托を使用したハンドクラフト教室を開催しました。果托の穴の部分に、綿とちりめんのできた詰め物をして装飾を施します。ちりめんの種類が多様多様なので、出来上がったものは唯一無二。みなさん苦戦しながらも作品作りを楽しんでいました。教室は2時間程度でしたが、参加者のみなさんそれぞれが充実した作品作りができたのではないのでしょうか。来年も予定しておりますのでみなさんのご参加お待ちしております。



## ○引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください○

■感染を拡大させないため、基本的な感染防止策(必要な場面でのマスクの着用、手洗い、三密の回避、換気)の徹底にご協力をお願いいたします。

○公園だよりは公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索